

天童・ボランティア団体

小児がん患者支援

レモネード 笑顔の輪

県青年の家（天童市）がコーディネートするボランティアサークル「nico こえ」は12日、小児がん患者への支援を募る「レモネードスタンドプロジェクト」の2年目の活動をスタートさせた。「山形 Make Lemonade プロジェクト」と銘打ち、レモネードスタンドの輪を県内でさらに広げ、活動を通じて笑顔あふれる山形づくりを進める。

2年目スタート「もっと活動知って」



「山形 Make Lemonade プロジェクト」をスタートさせた「nico こえ」のメンバーら

天童市・県青年の家

「nico こえ」は県内の中高生や大学生34人で組織。2023年度に同プロジェクトを立ち上げ、県内各地の催しでレモネードスタンドを開いたり、趣旨に賛同した70超の個人・団体の協力を得るなどし、100万円を超える支援金を山形大医学部に寄付した。

新プロジェクトの名称は、人生におけるつらいことをレモンに例えた英語のことわざに由来。多くの仲間と共にプロジェクトを進めていく中で、「つらいこと（レモン）があってもそれを前向きに考え、望ましい結果（レモネード）に変えよう」というメッセージを発信する。

青年の家で開かれたキック

オフミーティングでは、プロジェクトリーダーで、自身も小学3年の頃に小児がんを患った平田寧々さん（18）＝県立保健医療大に進学予定＝が「レモネードスタンドが持続可能な活動となるよう、24年をその第一歩としたい。昨年より多くの人に活動を知ってもらい、より多くの支援金が集まればと思う」と話した。公式応援ソングには、歌手・タレントの早見優さんが娘2人と歌う「make lemonade」を採用しており、早見さんからの動画メッセージも披露された。（落合慶）

「山形新聞 2024年3月13日（水）より」 山形新聞社提供